

## 学校評価について

学校評価とは

専修学校は、教育の質の改善及び充実を図るため、自己評価の実施と公表の義務化、学校関係者評価の実施・公表が努力義務化されています。

本校におきましても学校評価を実施し、評価結果を基に検討、改善することで特色ある専修学校作りの推進に努めております。

自己評価及び学校関係者評価の結果は以下の通りです。

令和5年度の取り組みと評価
---------------

### <学校関係者評価委員会>

令和6年3月13日（水）：第9回学校関係者評価委員会実施いたしました。

評価者：学校関係者評価委員6名 参加者：学校長以下5名

以下評価コメント（一部抜粋）

#### 「I 教育理念・目的・人材育成像」について

地域に貢献できる看護師の育成を目指した理念・目的・目標は定められている。地域性を考慮した甌島実習などのような工夫がもっと増えることを期待している。看護師のライフステージに応じた働き方を描ける人材を育成してほしい。

#### 「II 学校運営」について

運営方針や事業計画の策定においては評価できる。情報システム化により業務の効率化も図れペーパーレス化が推進している。パブリックホルダーやラインワークスを利用して更に効率化がはかれている。ただ、個人情報の保護に関する詳細がわかりにくかった。

#### 「III 教育活動」について

毎年教育内容の評価、改善を通して創意工夫がみられているが、シナリオモデルを導入しているので、もっと活用して欲しい。精神科施設での教員の実務研修は今までにない工夫があった。他施設で臨床指導者と教員で学生の実習体験を通して事例検討会をしているようだが、そのような活動を近隣の実習施設でも取り入れて欲しい。また、固定観念にとらわれず、新しい教員の価値を取り入れ、教員がやりがいをもってスキルアップできる環境作りを期待する。

#### 「IV 学修成果」について

進路就職支援相談会の開催、就職率は100%、このまま地元への就職率の高さを維持してほしい。スクールカウンセラーの相談件数も増加し相談しやすい環境も整ったと言えるが、退学者の主な原因はメンタル面のようなので何か施策はないのかと思う。卒業後の明確な支援体制が不明であった。仕事での悩みを相談できる場所の提供等、離職率が低下できるような支援を希望する。

#### 「V 学生支援」について

支援体制ができている。学生の健康管理や保護者との連携も適時できている。薩摩川内市の家賃補助制度は学生増員に期待できるが、就職先が市外になる可能性があることが気がかりである。

#### 「VI 教育環境」について

養成所の指定規則に基づいた環境は整っている。校内火災避難訓練も実施しているが、大規模災害訓練への参加ができていない。原発を有する地域であるため、防災意識を高く持てる人材育成に期待する。

#### 「VII 学生募集」について

反省を生かしながらオープンキャンパス学校訪問、ホームページと広報活動を行っている。市からの補助金など地域ぐるみで取り組みも素晴らしい。

#### 「IX 社会貢献・地域貢献」について

法令遵守等はできている。国体ボランティアやサポートボランティアに参加し、地域貢献できている。ボランティアは、福祉施設などで行うとコミュニケーション力や社会制度の理解につながる。

前年度と比較し、評価平均が上昇しており過去4年間では、最も高い。「学校運営」「教育活動」「学修成果」は上昇したが、「教育理念・教育目標・人材育成」「教育環境」「学生募集」「社会貢献・地域貢献」は、前年度より低下した。今一度、この時代・この地域をいかし他校との差別化を図った人材育成像を考えてみる必要がある。

(令和6年度の課題)

- ① シミュレーション教育等のスキルアップを行う。
- ② 学生が大規模災害訓練へ参加する。
- ③ 情報リテラシーの充実を図る。
- ④ 臨床指導者と教員間で新たな連携の場（学生事例の検討会等）を作る。
- ⑤ 学生募集と国家試験合格率アップは継続していく。

**学校関係者評価委員会、大項目評価の平均値(令和6年3月13日)**

5点満点評価

評 価 項 目  (*評価大項目及び付随する小項目内容・項目数)	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
	平均 評点	平均 評点	平均 評点	平均 評点	平均 評点
I、教育理念・教育目的・人材育成像	4.4	4.7	4.8	4.8	4.7
II、学 校 運 営	4.5	4.5	4.3	4.5	4.75
III 教 育 活 動	4.2	4.5	4.7	4.25	4.4
IV 学 修 成 果	2.6	3.7	4.0	3.6	4.2
V 学 生 支 援	3.3	4.5	4.5	4.6	4.6
VI 教 育 環 境	5.0	5.0	5.0	4.8	4.7
VII 学 生 募 集	4.6	4.7	4.9	4.8	4.7
VIII 法 令 等 の 遵 守	4.8	5.0	5.0	5.0	5.0
IX 社 会 貢 献 地 域 貢 献	4.5	4.2	4.1	5.0	4.8
総項目平均評価点	4.2	4.53	4.58	4.59	4.65

**教員自己評価 (令和6年1月末実施)**

<教員自己評価>

5点満点評価

各評価内容別平均値での比較		R1	R2	R3	R4	R5
I、教育課程 教授活動	1. 授 業	3.8	3.6	3.6	3.5	3.7
	2. 実 習	3.5	3.3	3.3	3.4	3.5
	3. 学 級 運 営・指 導	3.5	3.3	3.3	3.4	3.5
	4. 資 格 試 験	3.1	2.9	3.3	3.2	3.5
	5. 行 事 ・ 他	3.8	3.4	3.5	3.6	3.7
II、研究・研修	6. 研究 ・ 研 修	3.3	2.8	2.5	2.8	3.0
III、組織運営 広報活動	7. 組 織 運 営	3.6	3.4	3.5	3.5	3.7
	8. 学 生 募 集	3.5	3.3	3.4	3.4	3.3
	9. 施 設 設 備	3.9	3.4	3.7	3.5	3.7
総 合 平 均 点		3.5	3.3	3.4	3.4	3.5

- 令和6年1月末実施

教員自己評価では、「I,教育課程・教授活動」が21項目、「II,研究・研鑽」が3項目、「III,組織運営・広報」が11項目、3分野35項目について5段階評価を行い、自己の取り組みの改善を図っています。

## 令和5年度教員自己評価結果(一部抜粋)

1. 授業に関しては、評価項目の評価点は上昇している。授業前に課題を出す、演習時には他の教員の協力を得る、楽しい授業になるよう工夫をする、電子テキスト導入により動画を事前に視聴させるなどと、各人が工夫をして授業に臨んでいる。ただ、実習と授業を並行してこなさないといけない状況は、教員の達成感が十分に得られない状況と言える。
2. 実習に関しては、昨年度より評価点は上昇している。今年度は、実習要項・要領の追加修正ができた。また、ルーブリック評価表も作成でき達成感があったようだが、実習目的・目標を明確にして学生が取り組めたとは言えない。学生のレディネスにあわせた指導力が必要と言える。また、実習施設によって学びの差があるためその共有が必要である。さらに、短期間の領域担当は、1人で評価をするため負担が大きいという意見がでた。
3. 学級運営・学生指導に関しては、昨年度より評価点は上昇している。全体的に教員間での協力体制が円滑で、情報交換もタイムリーにできた。相談や意見を交換しながら学生指導ができたが、自己主張のある学生への対応には苦慮し、クラスをまとめるのに困難を感じている。健康管理・感染予防には全教員で取り組むことができた。
4. 資格試験に関しては、自己評価は、昨年より0.3Pと大きく上昇している。実習中から国家試験を意識した指導、早い時期からの計画的取り組みの結果と言える。低学年の実習引率と重なったが、教員間の協力体制もできていた。低学年も計画的に取り組んでいるが、やる気が継続するような関りが課題である。
5. 行事・その他に関しては、参加協力できなかった教員もいるが、全体的に行事関連は円滑にできたと評価している。多忙中ではあったが、入学式・学校祭・戴灯式等が滞りなくできた。
6. 研究・研修に関しては、研究に至った教員はいなかったが、評価点は上昇している。学生の事例研究を指導する中で刺激を受ける教員もいた。研修には参加しているが、それを授業や実習に活かせる域までは到達していないようだ。
7. 組織運営に関しては、昨年と比較すると0.2P上昇している。組織の一員としての自覚を持ち、優先順位を考え、仕事に取り組んでいる。職場での協力体制も評価が高い。ただ、学生対応や実習を優先し、授業準備等に時間が確保できない。
8. 学生募集に関しては、今年度は、評価点が下降している。自己評価内容では、積極的に参加したようだが、実習等で参加できなかった教員は評価が低くなっている。SNSのフォロワーが増加しているのでInstagramの活用や接遇、マナー、ミニ授業等本校の特徴を活かした広報活動を行っていく。また、オープンキャンパスの回数が多いので要検討という意見もあった。
9. 設備整備に関しては、学内の物品管理が整備できた。毎日、清掃活動を行い、校内美化に努めた。

全体的、ここ4年間で徐々に自己評価は上昇している。学生募集と研修研究は伸び悩んでいるためそこに課題がある。各教員が新人から中堅に成長してきた結果と言えるかもしれない。多重課題が多く、なかなか自分の仕事や自己研鑽までに至らないので環境改善、働き方の見直しが今後ますます必要である。